

## 地産地消の輪を広げる「食育畑」の取り組み

甲賀県事務所農産普及課

### 【普及活動のねらい・対象】

昨年度、学校給食への地場農産物の供給拡大など、農業分野からの食育推進を図るために、農業関係者および学校給食関係者等を構成員とした「地産地消の輪を広げる甲賀・湖南食育推進協議会」を発足し、食育の実践に向けて活動を行ってきました。

本年度は、農業分野だけではなく、健康福祉分野からみた食の環境づくりという視点を加え、医師会や薬剤師会、調理師会、健康推進協議会などに呼びかけるとともに、協議会の名称を「甲賀・湖南食育推進協議会」に改称し、総合的に食育推進を図っていくこととなりました。

協議会の中の「生産部会」では、学校給食向け農産物の生産を増やすこととし、生産ほ場を「食育畑」と名付け栽培を支援するとともに、設置数の拡大を図りました。

### 【普及活動の成果】

「食育畑」設置数は、昨年度は甲賀市内の10か所でしたが、新たな取り組み者の呼びかけを重ねたところ、湖南市を含む18か所に拡大し、各地区給食センターにおける地場農産物使用の向上につながりました。

8月26日には、「食育畑」取り組み者を対象に、栽培技術研修会を開催しました。

研修会では、給食で年間を通じて需要の多いジャガイモ、ニンジン、タマネギ等の栽培ポイントを説明するとともに、出荷規準や出荷の手順などを説明しました。

研修会の中で意見交換を行ったところ、生産者側と給食センター、特に調理員との間で出荷物の品質基準に認識の差があることがわかりました。

これを受けて、給食センターへ定期的に足を運び、出荷物の現物を見せながら出荷規準の調整を図ることとしました。また、年度末に発行予定の「食育畑栽培マニュアル」にも品目ごとの出荷規準を掲載し、生産者と給食センターの双方が納得の上で地場農産物が安定供給されるよう支援をしていく予定です。



甲賀管内の「食育畑」マップ



「食育畑」で給食向け野菜を生産